

【次の文章を読んで後の問いに答えよ】

(配点：五十点 時間：二十分)

注(1)

孟孫陽問楊子曰、「有人於此、貴生愛身、以求

不死乎。」曰、「理無不^①死。」以求久生、

可乎。」曰、「理無久生。生非貴之所能存。身

非愛之所能厚。且久生奚為。百年猶厭其

多、況久生之苦乎。」

孟孫陽曰、「若然、速亡愈於久生。則踐鋒

刃、入湯火、得所志矣。」楊子曰、「不然。既(あ)、

則廢而任之、究其所欲、以俟於(い)。將

(う)、則廢而任之、究其所^②之、以放於^③尽。

無不廢、無不任。何遽遲速於其間乎。」

注(1) 孟孫陽：人名。楊子の弟子。 (2) 楊子：戦国時代の人、楊朱。 (3) 鋒刃：鋭い刃 (4) 廢：作為を加えない

で、そのままにしておく (5) 放：至る

問一 傍線部⑦の本文中における読みとして適当なものを次の中から一つ選べ。(25点)

- 1, つひに 2, さまに 3, かつ 4, ゆゑに 5, しばらく

問二 傍線部①について、以下の訳となるように、返り点をふれ。(15点)

命は、何よりも大切にしても、いつまでも保てるものではない。体は、かけがえないものとして大切に

問三 傍線部②のように楊子が述べているのはなぜか。(15点)

問四 傍線部③が示す内容を、本文中から二字で書き抜いて答えよ。(15点)

問五 (あ)(い)(う)には「生」か「死」の漢字が入る。当てはまる漢字をそれぞれ答えよ。(各4点)

問六 本文の楊子の主張に最も合うものを以下の選択肢から一つ選べ。(15点)

- 1, 人は、苦しむくらいならむしろ早死にする方がよく、延命などせず、長生きに執着すべきでない。
- 2, 人は、苦しみに耐え自らを律しながら、生を素直に受け入れ穏やかな死を迎えるのがよい。
- 3, 人は、身を大切にいとおしみ不老長寿を求めべきで、死を望むなどもつてのほかである。
- 4, 人は、苦しみに打ち勝ち日々の生活を充実させるべきで、幸福の到着の早い遅いは問題ではない。
- 5, 人は、自らに忠実に行動し生や死をありのままに受け入れ、早死にや長生きを問題とすべきでない。